

こんにちは

横浜市議員

日本共産党

週刊ニュース

宇佐美 さやか です



日本共産党神奈川区事務所
横浜市神奈川区西神奈川3-2-17
電話：045-491-6843
FAX：045-491-6892
<http://www.usami-sayaka.jp//>

“モグラたたき”ではなく感染拡大の根を絶つ対策を

12月4日、横浜市議会では議案関連質問が行われ、日本共産党から北谷まり議員（保土ケ谷区選出）が登壇。水道料金の値上げ案や喫食率想定2割のハマ弁の給食化、第4次コロナ対策補正予算案について、林文子市長に問題点を指摘し、改善を迫りました。

「無症状」把握する社会的検査を

北谷議員は、横浜市のコロナ対策の大きな問題点は、感染が確認された後の対策が主になっているという点で、これでは「モグラたたき」と同じで、感染拡大を止めることにならないと指摘。クラスター対策も大切だが、「点と線」での対策にとどまらず、医療、福祉、保育・幼稚園、学校や学童など感染急増のリスクの高いところに対して無症状の感染者を把握・保護するための社会的検査と感染急増地での「面の検査」が必要であり、本市もその方向に舵を切るべきだと主張。

高齢者施設の全員検査と保健所の体制強化を

提案されている高齢者施設へのPCR検査費用の助成は、新規入所の希望者だけに限定せず、入所者、職員に広げるべきだと提案しました。また、感染者の追跡業務（トレーサー）を確保し、横浜市内に1か所、18支所という保健所の体制の抜本的な強化を求めました。

横浜版GOTO 感染収束まで停止に

横浜版GOTOともいえる事業が提案されています。予算は2億円。内容は、今年12月から来年3月にかけて、市内日帰り旅行商品の割引や市内宿泊旅行商品へのクーポン付与です。

11月27日には、神奈川県知事がステージ3警戒宣言を発出しています。

北谷議員は、本市の感染拡大状況を見れば、本事業は仮に予算が成立したとしても、感染が収束するまで執行停止することを求め、観光事業者な



質問する北谷（きたたに）議員＝12/4市会本会議

どには、直接支援を行うことなどを提案しました。

「蔓延期」ではない？…市長答弁

林市長は、横浜市のコロナ感染状況は一気に広がっている状況ではなく「蔓延期までは行っていない」という認識を示し、横浜版GOTOの停止には背を向けました。

また、高齢者施設や福祉施設等の入所者全員や職員への定期的なPCR検査等については「クラスター発生のおそれがある場合には、集団検査を行っている」と述べるにとどまりました。

コロナ“乗り越えた一年”？

12月1日に発行された広報よこはまの市長挨拶文では、「皆様と歩み、乗り越えた一年」と題して、すでにコロナ感染が収束しつつあるかのような認識を示しています。

第3波到来で行政は、これまで以上に気を引き締めなくてはならない時期に、市長がこのような認識では、感染拡大を防ぐことなどできません。

皆様と歩み、乗り越えた一年

今年は、新型コロナウイルス感染症というかつてない困難に直面し、共に生活や働きを取り戻そうに、市民や事業者の皆様と一緒に、オール横浜で取り組んでまいりました。現在も最前線で対応にあたり、市民の皆様や福祉サービス利用者の皆様をはじめ、社会経済活動を支える全ての皆様のご協力に、改めて感謝申し上げます。

横浜は、これまで総額6,000億円を超える「らくら経済対策」を打ち出し、医療提供体制の確立や感染予防の徹底、厳しい状況にある市民や事業者の生活の支援などに、力を挙げて取り組んでまいりました。

今後とも引き続き、市民や事業者の安全・安心を最優先とし、一日も早く経済活動を再開できるように努めてまいります。

コロナ禍において横浜は、世界に先駆けて現代アートの国際展「2020横浜トリエンナーレ2020」を開催しました。また、横浜の秋の魅力を伝える「秋の葉山アートフェスティバル」は過去最多の来場者数となりました。そして、夏の横浜を美しいイルミネーションで彩る「ヨコハマ」を実施しており、今年10月からはフランス映画祭も始まります。文化芸術や自然、美しい風景には、人の心を癒し、希望を与えてくれる大きな力があります。ぜひ、多くの皆様にお楽しみいただければと思います。

年末年始を迎え、仕事やお出かけなど、ご家族やご友人と過ごす機会が増える時期です。ご自身や大切な人を守るため、感染対策を徹底し、安全な日々をお過ごしください。どうぞ良いお年をお迎えください。



横浜市長
林 文子

広報よこはま12月号より